

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血漿）を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血漿）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

コバス 6800 システムにおける HBV-DNA 測定および HCV-RNA 測定の基礎的性能評価

### 【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院検査部

### 【研究責任者】 村上 晶子（検査部 主任臨床検査技師）

### 【研究の目的】

HBV-DNA、HCV-RNA とは、B 型肝炎ウイルス（HBV）および C 型肝炎ウイルス（HCV）の遺伝子検査です。それぞれ B 型肝炎患者さんおよび C 型肝炎患者さんの病態把握や治療効果の判定などに用いられています。

今回、HBV-DNA および HCV-RNA 測定に使用する機器の更新および新試薬導入のため、既存試薬との相関性や新試薬の基礎的性能評価を行います。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2018 年 5 月から 2019 年 3 月の間に当院検査部で HBV-DNA および HCV-RNA の検査を実施された患者さん

（利用するカルテ情報）

年齢、性別、検体採取日、検査実施時の HBV-DNA および HCV-RNA の測定

値、患者背景、感染ウイルスの詳細、肝炎の治療状況など。

(利用する試料)

検査終了後、残った試料（血漿）

**【個人情報の取り扱い】**

研究に用いる検体は、患者さんのお名前、住所などの個人を直接特定できる情報を除いています（匿名化といいます）。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の試料は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、すでに匿名化されている場合は、除くことができませんのでご了承下さい。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院検査部  
副技師長 高須賀 康宣

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院検査部 村上 晶子  
〒791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5598